

# 瀬戸内発見伝

巻の十八

さぶかせこようせきぐん  
寒風古窯跡群確認調査概報④

## 須恵器ってどんな焼き物？

これまで、寒風古窯跡群は飛鳥時代から奈良時代前半の約100年間にわたり須恵器を焼いた窯が築かれた場として紹介してきました。今回、確認調査概報の最終回としてあらためて「須

恵器ってどんな焼き物？」について紹介します。

須恵器は古墳時代中頃（今から約1,600年前）、朝鮮半島からの渡来人技術者により朝鮮半島の陶質土器そのものとともに、その技



寒風古窯跡群出土須恵器

術が伝えられ、生産が開始された焼き物です。従来の弥生式土器や土師器などと異なる点として、第1に「轆轤」の使用です。轆轤を使用することにより、効率的で大きな整った画一的な生産を可能にしました。

第2に専用の窯を使用することです。これは従来の赤茶に焼ける野焼き法とはまったく異なる焼成方法で、丘陵の斜面を利用して釜窯（登り窯）を築き、1,000度以上の温度を保ちながらたき、焼き締め最終段階で薪を追い足した上で窯の焚口を密閉し、窯内部への酸素を遮断します。そのため、窯内部が酸素欠乏状態となり須恵器の胎土（粘土）に含まれる酸素が窯の燃焼に使われず。そして胎土に含まれる酸化鉄が還元され須恵器独特の青灰色に焼きあがります。この一酸化炭素による還元作用を利用した焼成法である「還元焰焼成」をうまくコントロールし焼き

上げた無釉（釉薬を用いない）の焼き物が須恵器です。このため須恵器は、この化学反応を巧みに操作した「古代のハイテク技術製品」と称される所以がここにあります。

須恵器の語源については定説がありませんが、ハンブルで「鉄」を「斗」と表記し、「スエ」と発音しませんでした。赤焼けの土器しか知らなかった古墳時代の人々には、青黒い色や表面をはじくと「カンカン」と甲高く響くことから須恵器は「鉄のように硬い器」として映ったのかもしれない。

また、「須恵器」という言葉については、明治時代には「祝部土器」「齊瓮」「厳瓮」「朝鮮式土器」「陶質土器」などと呼ばれ統一した名称はありませんでした。昭和の時代になり考古学者の後藤守一博士は「陶を須恵の二字に分けて須恵器と呼ぶのが一番

穏当であろう」と提唱され、戦後になってようやく現在の「須恵器」の名前に統一されました。意外と新しい呼び名ですね。

今回の調査で出土した資料や時實コレクションは、寒風陶芸会館内の展示室で「発掘速報展」として公開されていますのでご覧ください。

### 参考文献

- 山本悦世「寒風古窯址群」2002
- 大阪府立近つ飛鳥博物館編「年代のものさし・陶邑の須恵器」2006



今回の調査で出土した資料などは寒風陶芸会館内の展示室で公開されています

# ジャンプ ステップ ホップ

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介し、皆さんも仲間入りしませんか。

## 楽しくていいこと 「革工芸クラブ」

革工芸クラブの皆さんは、邑久町公民館で月2回、革工芸を楽しんでいます。バックや財布、スカート、ベスト、ベルトなどいろいろな作品作りを精を出すクラブの皆さん、20年前の発足時から始めたベテランから、3年生まで革工芸歴もさまざまです。

同じ材料を使っても、二つとないオリジナル作品ができる革工芸の魅力。革は多種類あり、染色などすると、思い描いた作品が完成します。「完成した時の喜びは格別身に着けたり、プレゼントしたりと楽しいです」とクラブの皆さん。「作品には、その人



葛原先生の指導のもと、作業を進めます

の個性が表れます。長く続けてほしいですね」と革工芸歴48年の葛原美代子先生（77歳・邑久町山田庄）は話します。

和気あいあいと楽しい雰囲気で行われている革工芸を、皆さんも始めてみませんか。

- ★活動日時 第2・4水曜日 午前9時～正午
- ★活動場所 邑久町公民館
- ★会費 月2,000円
- ★代表 岡 皖子さん
- ☎0869-122-11589

## 明るく、元気よく、楽しく 瀬戸内シーガールズ

瀬戸内シーガールズの練習日。小学生1年生から6年生までの団員22人が汗を流しながらボールを追い掛けます。

瀬戸内シーガールズは牛窓、裳掛、長船のバレーボールスポーツ少年団が集い、発足。今年4月から本格的な活動を始め、日々練習に励んでいます。

練習はアップから始まり、レシーブ・サーブ・アタック・フォロメーションレシーブと続きます。実践的な練習にも取り組み、子どもたちは大きな声を出し、楽しみながら練習をします。

「今年の目標は、県大会。まず1勝、明るく、元気よく、



チームワーク抜群の瀬戸内シーガールズの皆さん

楽しく」と原野裕監督。年間に10回程度の公式試合を力いっぱい戦います。「みんな仲良しで、チームワークが良いチーム」と、キヤプテンの榮瑞貴さん（11歳・邑久町虫明）。

- ★活動日時 第1土・第3日・第4土曜日 午前9時～午後4時
- ▽第2日曜日 午前8時30分～午後4時
- ★活動場所 邑久B&G体育館、裳掛小学校体育館、牛窓体育館、長船スポーツ公園体育館
- ★会費 年3,000円
- ★ホームページ <http://www.tikine.jp/takenet/>
- ★代表者 原野 裕さん
- ☎0869-134-4724



和やかな雰囲気で行われている革工芸クラブの皆さん



大きな声を出しボールをつなぎます